

関東支部秋季大会の必要経費と実施要項の見直し

平成 30 年度予算案通り執行すれば 30 万円ほどの赤字になる。ただし、各事業を独立採算で実施できれば、赤字額は 9 万円に圧縮できる。(参考資料 1)

ところが、5 月の支部総会では 4.4 万円の赤字を既に作った。今後は実施事業の予算見直しを行わない経費削減に努めないと 2 年後には関東支部は本当に破綻する。(参考資料 1、2)

秋季大会について最近の決算を下記の表に示した。(総会資料参照)

秋季大会は参加費 400 円のため収入が少なく、最近は赤字であったことがわかる。

昨年までは、赤字額は少額であったが、今年以降は 1 万円以上の赤字予想である。

年 度		H30	H29	H28	H27	H26
会員数		160	175	197	201	241
収 入	参加費	64,000	70,000	78,800	80,400	96,400
	追加販売	20,000	23,400	23,200	24,400	-
支 出	賞品費	-59,000	-59,000	-74,284	-90,769	-95,453
	事務通信費	-38,313	-38,313	-32,489	-14,649	-11,994
収 支		▼13,313	▼3,913	▼4,773	▼618	▼11,047

参加費：秋季大会参加費は 400 円、釣選手権大会 1000 円、磯投げ釣り大会と納竿大会は 800 円

見直し

石井私案 1：競技魚種を減らす。イシダイ、イシガキダイ、ブダイ、メジナ、クエ、他魚の 6 魚種
支部会員に釣り人のいないクロダイと釣り人少数のシロギスは廃止する。

2 万円の削減、あとは検量票提出数をみて QUO カードの金額を調整する。

石井私案 2：賞金を減らす。1 位 5000 円→2500 円、2 位 3000 円→1500 円、3 位 2000 円→1000 円。

1 魚種 1 万円×8=8 万円 → 5 千円×8=4 万円

残念賞：1000 円 QUO カード → 500 円カードにして約 5000 円削減

賞品代は 4.5 万円程度で済むが、ショボイ大会になる。

QUO カード：大会参加御礼であり検量票提出を奨励する。“コンビニで一人残念会”をしてもらう。

来年以降

赤字解消と役員の負担軽減のため実施方法を含めて見直しは必至である。

山里私案

(1) 秋の大会は 10 月 1 日から 12 月第 1 週の日曜日までとする。大会期間は 2 か月。

または、釣選手権大会期間には支部大会は実施しない。支部は納竿大会だけにする。

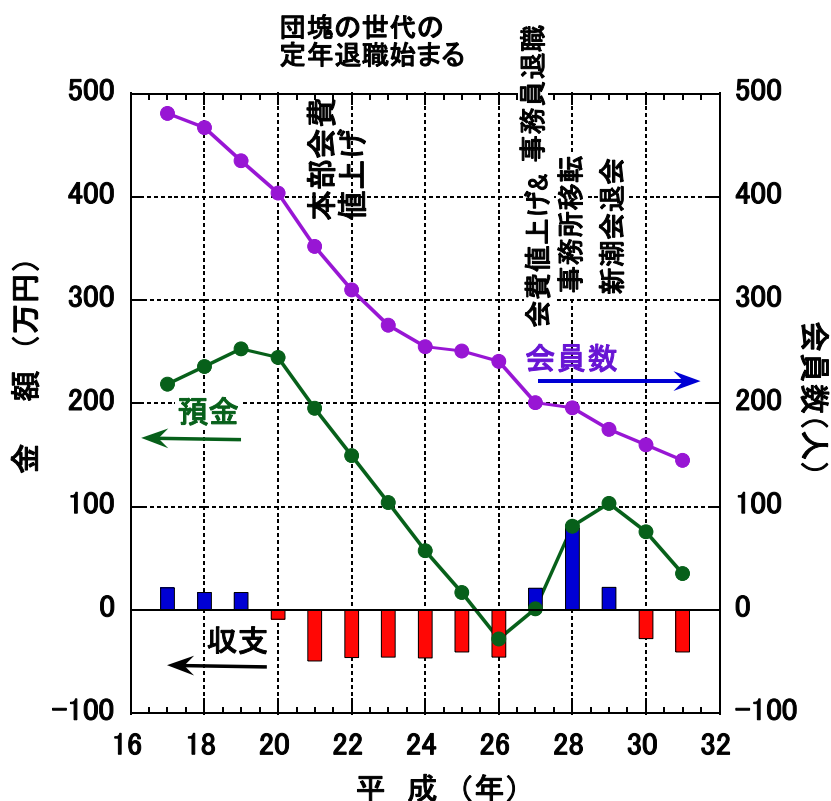
春の大会 1000 円、秋の大会 1000 円、2 大会とする。詳細は要検討。

(2) 事務通信費削減のため、最近利用実績のない検量所は廃止する。房総、伊豆地区など

(3) 年間チャンピオン選出の条件にある表彰規定 21 条の“要魚拓”をはずし、

年間チャンピオン選出を容易にする。最大魚≠チャンピオンの矛盾解消

参考資料1 (会員数、収支などの変化の様子)



参考資料2 (ゴルフ人口、釣り人口と会員数)

